

## 目 次

|  |    |
|--|----|
| 提言の要約                                    | 1  |
| はじめに                                     | 2  |
| <b>第1章 地球温暖化の現状</b>                      |    |
| 1 地球温暖化の状況                               | 2  |
| 2 温室効果ガス排出量の状況                           | 3  |
| <b>第2章 地球温暖化対策の現状</b>                    |    |
| 1 国における地球温暖化対策                           | 4  |
| 2 地方公共団体の取組                              | 4  |
| 3 先進事例                                   | 5  |
| 4 地球温暖化に関する意識調査                          | 6  |
| <b>第3章 取組の課題と解決策の方向性</b>                 | 8  |
| <b>第4章 政策提言</b>                          |    |
| 【提言1】CO <sub>2</sub> 排出量データ自動集計表示システムの導入 | 9  |
| 【提言2】新たなエコポイント制度を利用した地球温暖化対策の推進          | 11 |
| 【提言3】再生可能エネルギー利用促進による地域エコ活動の普及推進         | 13 |
| おわりに                                     | 14 |

## 【提言の要約】

### 家庭・地域から始める地球温暖化対策

#### 現 状

地球温暖化防止に向けて、多くの国々で様々な取組がなされている。わが国の現状としては、京都議定書に基づく削減約束期間（2008年～2012年）を迎えようとしているにもかかわらず、同議定書に規定する削減率の達成は厳しい状況となっている。

#### 課 題

- ・産業及び運輸部門からの温室効果ガス排出量は減少または微増であるのに対し、業務及び家庭部門からの排出量は著しく増加している。
- ・地球温暖化問題について関心はあるが、継続して取り組む対策や方法が分からないという住民が多い。

#### 目 標

CO<sub>2</sub>削減に向けた取組について、継続して実践できる住民を増やし、家庭から地域へと行動の輪を広げる。

#### 提 言

- 【提言1】CO<sub>2</sub>排出量を自動的に集計して表示できるシステムの構築
- 【提言2】ICカードを利用した家族ぐるみで取り組む地球温暖化対策の仕組みの構築
- 【提言3】地域ぐるみで始める再生可能エネルギーを活用することによるエコ活動の推進

#### 効 果

- 【効果1】地球温暖化対策に継続して取り組む住民が増え、地域社会に広がることによりCO<sub>2</sub>削減を図ることができる。また、家計の負担も軽減される。
- 【効果2】エコ活動に対するポイントが付与されることにより、家庭内での環境問題に対する意識が高まり、継続性も持たせられる。
- 【効果3】再生可能エネルギーの利用促進により、CO<sub>2</sub>排出量の削減及び地域全体での環境意識の向上につながる。